

「プラスチック金型職種」 競技委員会

日 時： 令和 6 年 3 月 1 日 (金) 9 : 00 ～ 16 : 00

場 所： 職業能力開発総合大学校 (6 号館 1F 機械工学実験室)

議事録

出席者

競技委員 出席者

・新家主査 / 高本競技委員 / 佐藤競技委員 / 飛田競技委員 / 吉田競技委員 / 古井戸競技委員
宮坂競技委員

議題

1. 反省会を踏まえた検討事項の決定について
2. 競技日程、スケジュール短縮案について
3. 第 62 回技能五輪全国大会競技委員、補佐員体制について

1. 反省会を踏まえた検討事項の決定について

・反省会で挙げられた検討事項の回答が決定。

詳細内容については添付資料「【2024.03.01 競技委員会】プラ型職種-第 61 回大会-振り返り意見まとめ」を参照。

・競技上の注意事項説明時のマーキングについて

→読み上げる部分をマーキングしたファイルを大会期間前に作成する。

(設計→飛田委員 / 機械加工→飛田委員 / 仕上加工→高本委員 / 成形→古井戸委員)

・機械作業台の待機エリア活用について

→各グループの移動可能時間帯を明記した貼り紙を作成

・ピンカット機の砥石交換について

→砥石交換時の対応について詳細を注意事項に追記

・仕上げ作業台の掛け布について

→設計競技の注意事項に「競技中は掛け布を外すこと」と追記

・成形機の製品排出時に受けボックスから落下する問題について

→Astemo 機の受けボックスを改良する (Astemo 様に依頼済み)

2. 競技日程、スケジュール短縮案について

◆競技時間の変更

競技 1 金型設計競技・・・金型設計・加工計画 2 時間 00 分 → 1 時間 45 分

競技 2 金型製作競技・・・機械加工 3 時間 30 分 → 3 時間 15 分

◆採点表の変更

<配点の変更>

競技 1 得点合計 19 点 → 17 点

競技 3 得点合計 44 点 → 46 点

<図面>

製品部以外の形状表現 0.8 点を 0.2 点へ変更

基準面からの製品配置位置 1.0 点を 0.5 点へ変更

CV 側入れ子ピンの評価を追加 0.2 点

<成形品外観>

製品外観「A」「B」の上限数 10 カ所を 15 カ所へ変更

◆競技スケジュールの変更

※詳細内容については添付資料「**【62 回用コメント付き】競技スケジュール検討**」を参照。

- ・図面確認時間については、課題提案方法を大きく変更しブラッシュアップ期間も設けているため、当日の質疑応答は少ないと考えられる。よって図面確認 5 分と質疑応答 5 分とする。

(61 回大会は特に指示はなく、10 分間図面確認としていた)

- ・機械競技の持参工具点検は競技委員を増員し、15 分から 10 分へ変更
- ・仕上げ競技の持参工具点検も競技委員を増員し、30 分から 25 分へ変更

- ・成形競技練習は 10 分から 15 分へ変更

成形補佐員は成形練習の運営全般を担当。(練習中の監視や、練習終了後に成形条件のリセットなど。)

成形補佐員※1への運営方法の説明は、11/18(月)8:00～実施。

※1：企業補佐員

- ・成形競技練習は、選手 1 名につき監督者 1 名までの入場を可とする。

3. 第 62 回技能五輪全国大会競技委員、補佐員体制について

・トヨタ紡織様、ジェイテクト様、SUBARU 様、本田技研工業様、トヨタ車体様、日立 GLS 様、日立 Astemo 様に打診する。（新家主査）

・持参工具点検と成形競技の補佐員を 62 回大会から依頼

競技委員 1 名＋補佐員 1 名で工具点検（補佐員：持参工具の読み上げ）

（今後は、公正を維持するためにも所属企業の理解が得られ、永く運営に協力いただける方に就任をお願いする予定です。）

4. その他（競技会場、分散開催実施検討など）

・会場備品については、前日に搬入可能か JAVADA へ確認する。（新家主査）

（議事要旨作成 宮坂）

以 上